

操作説明書

メンテナンス情報付属

Third Edition
Fifth Printing
Part No. 1000237JA

Z™-80/60

801 ～ 2448

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie までご連絡ください。

目次

ページ
安全規則 1
説明 8
操作 9
操作前の点検 17
メンテナンス 19
機能テスト 22
作業場の点検 29
操作手順 30
ステッカー 36
輸送およびリフトの手順 40
仕様 43

お問合せ先：

インターネット：http://www.genielift.com
電子メール：awp.techpub@terex.com

Copyright © 2002 Terex Corporation

第 3 版： 第 5 刷、2013 年 3 月

「Genie」および「z」は米国およびその他の国における Terex South Dakota の登録商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

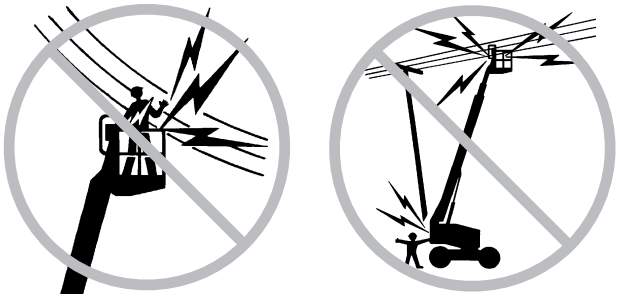
☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全な機械操作のための適切なトレーニングを受ける。

安全規則

感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全上の 最短距離 メートル
0~300V	接触を避ける
300V~50KV	3.05
50KV~200KV	4.60
200KV~350KV	6.10
350KV~500KV	7.62
500KV~750KV	10.67
750KV~1000KV	13.72

作業台の動きおよび電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで，絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

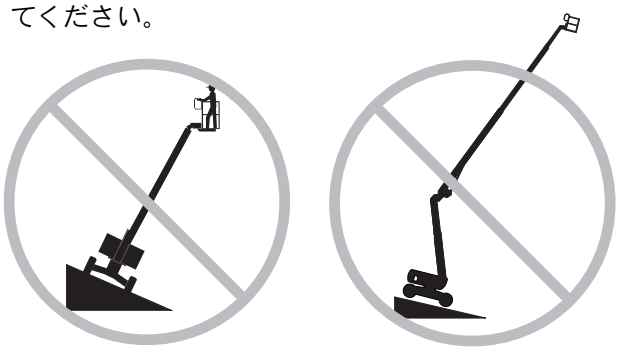
作業台への溶接ラインオプションが搭載されておらず、適切に接続されていない場合は、溶接する際に機械をアースとして使用しないでください。

転倒の危険

作業員、装備、および機材の合計重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	227 kg
最大作業員数	2

作業台最大積載荷重量にはパイプクレードル、パネルクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。これらのオプションに関しては、ステッカーを参照してください。



機械をしっかりした平らな地面に設置している場合以外は、ブームを上げたり伸ばしたりしないでください。

水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：
ブームを水平位置より上に伸ばしたり、旋回あるいは上昇させないでください。作業台を上昇する前に、機械をしっかりした平らな地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを格納し、作業台を下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。作業台を上昇する前に、機械をしっかりした平らな地面に移動してください。

挟まったり、引っ掛かったり、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

風速が秒速12.5 m を超える場合はブームを上げないでください。 ブームを上げているときに風速が秒速12.5 m を超えた場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。





機械を収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇または伸長した状態で機械を走行しないでください。

機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納された状態のものです。

最大定格勾配、収納状態、2WD	
カウンターウェイトが傾斜の上り側	30%（17°）
カウンターウェイトが傾斜の下り側	15%（9°）
横勾配	25%（14°）
最大定格勾配、収納状態、4WD	
カウンターウェイトが傾斜の上り側	45%（24°）
カウンターウェイトが傾斜の下り側	35%（19°）
横勾配	25%（14°）

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

作業台の外にある物を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大側方圧力 -
ANSI & CSA
667 N

最大側方圧力 -
CE & オーストラリア
400 N



安全規則

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。 機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や作業台や積荷の表面積を増大させます。

工場出荷時に取り付けられているタイヤを、異なる仕様またはプライ数評価値のものと交換しないでください。

工場出荷時に取り付けられているフォームタイヤを空気圧タイヤに交換しないでください。ホイールの重量は、安定性に大きな影響を及ぼします。

ハイフローテーションタイヤは、工場出荷時に搭載されているものだけを使用してください。標準タイヤで工場出荷されている機械のタイヤをハイフローテーションタイヤに交換しないでください。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。





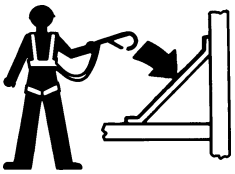
作業台にはしごや足場を設置しないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、ラグナットが適切に締められていることを確認してください。

落下の危険



法規に従って、作業員は安全ベルトやハーネスを着用しなければいけません。安全帯を作業台の固定場所に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



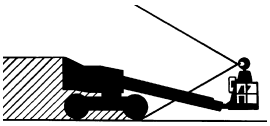


作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

衝突の危険

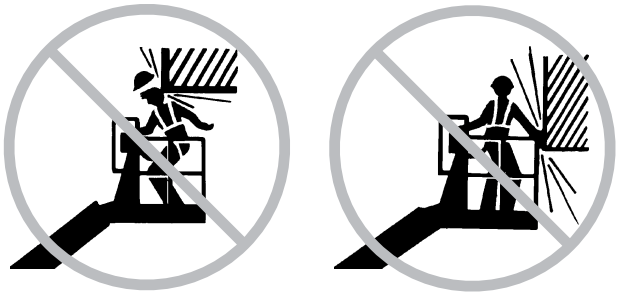


走行および操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置および後方車体の揺れに注意してください。

作業員は、安全装備の使用に関して、従業員規則、作業現場の規則、および法規に従わなければなりません。

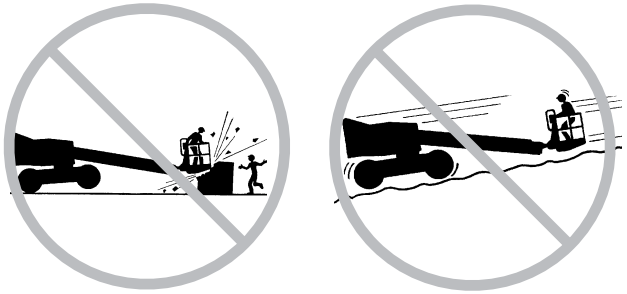
作業場において、頭上に障害物および他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

走行およびステアリング機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの円形および四角形のマークと色分けされた方向矢印を確認してください。

ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

クレーンの制御をロックするか、衝突を防ぐための予防措置をとっていない場合には、クレーンの軌道内でブームを操作しないでください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたりむやみに騒いだりしないでください。

部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動するには、12 ボルトを超える高電圧のバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

作業台への溶接ラインオプションが搭載されていない場合、または適切に接続されていない場合は、溶接する際に機械をアースとして使用しないでください。

安全規則

爆発と火災の危険

LPG ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンの作動中に燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、広く換気された場所で行ってください。

危険な場所、可燃性の高い場所、あるいは爆発性のガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテル性のスプレーをかけないでください。

機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書とサービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

一酸化炭素中毒を避けるため、よく換気された場所で常に機械を操作してください。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、これらのコンパートメントについては作業前の点検だけを行ってください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

作業台への溶接ラインの安全

溶接電源ユニットに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

溶接電源ユニットの電源が作業台操作で切られていない場合は、溶接リードまたはケーブルを接続しないでください。

溶接ケーブルが正しく接続されていない場合は、操作しないでください。

プラス極側のリード線をターンテーブルと作業台にあるツイストロック コネクタへ接続してください。

マイナス極側のリード線を、ターンテーブルおよび作業台の接地ポストに接続してください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報シンボル — 作業員にケガの危険があることを示します。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとの安全警告に従ってください。

⚠DANGER

赤 — 差し迫った危険があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ります。

⚠WARNING

オレンジ — 危険な状況に至る可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至る可能性があります。

⚠CAUTION

警告シンボルを伴った黄色 — 危険な状況に至る可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

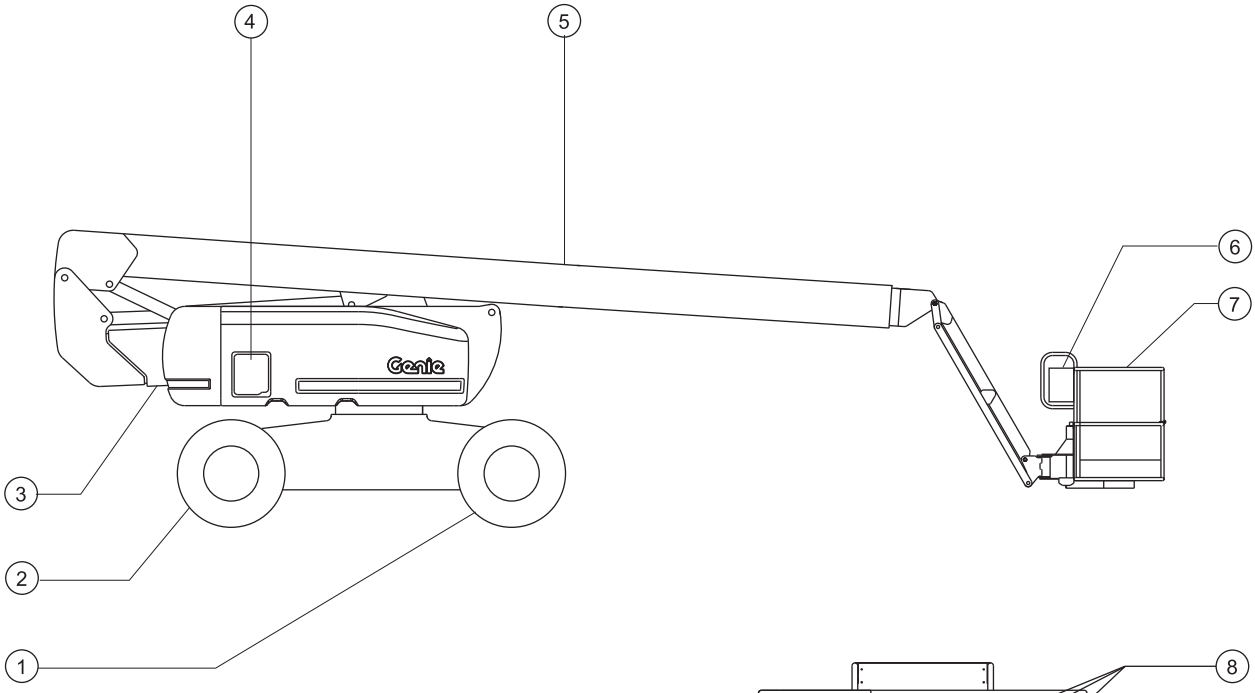
CAUTION

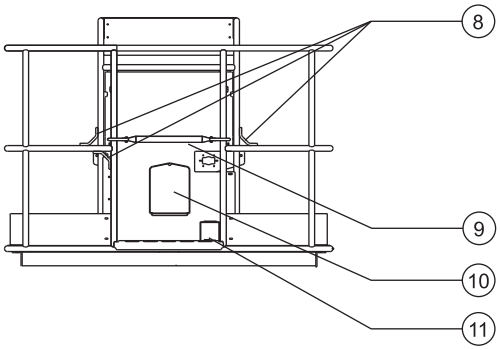
警告シンボルがない黄色 — 危険な状況に至る可能性があることを示します。 危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

NOTICE

緑 — 操作情報またはメンテナンス情報を示します。

説明

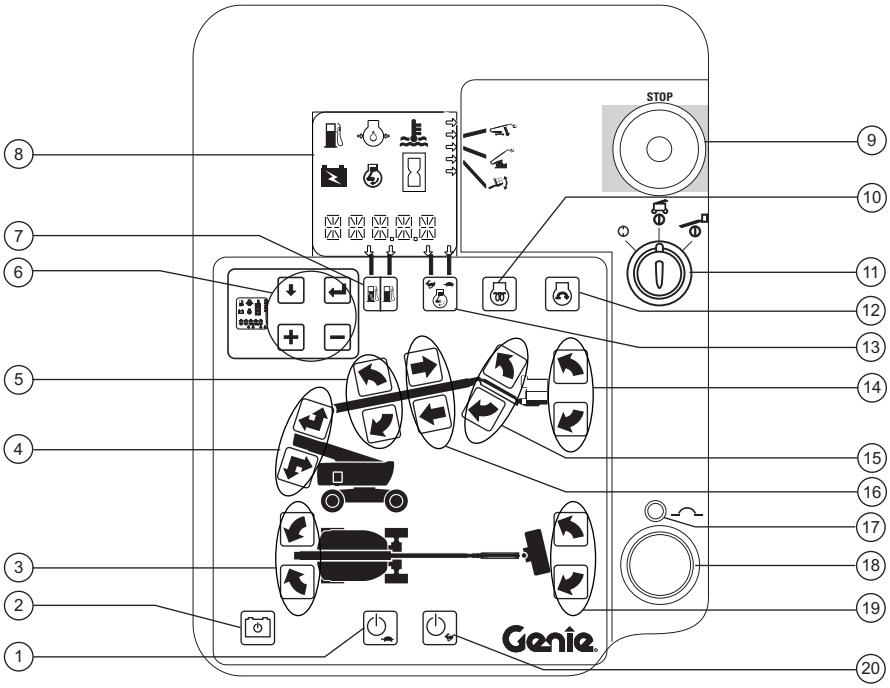


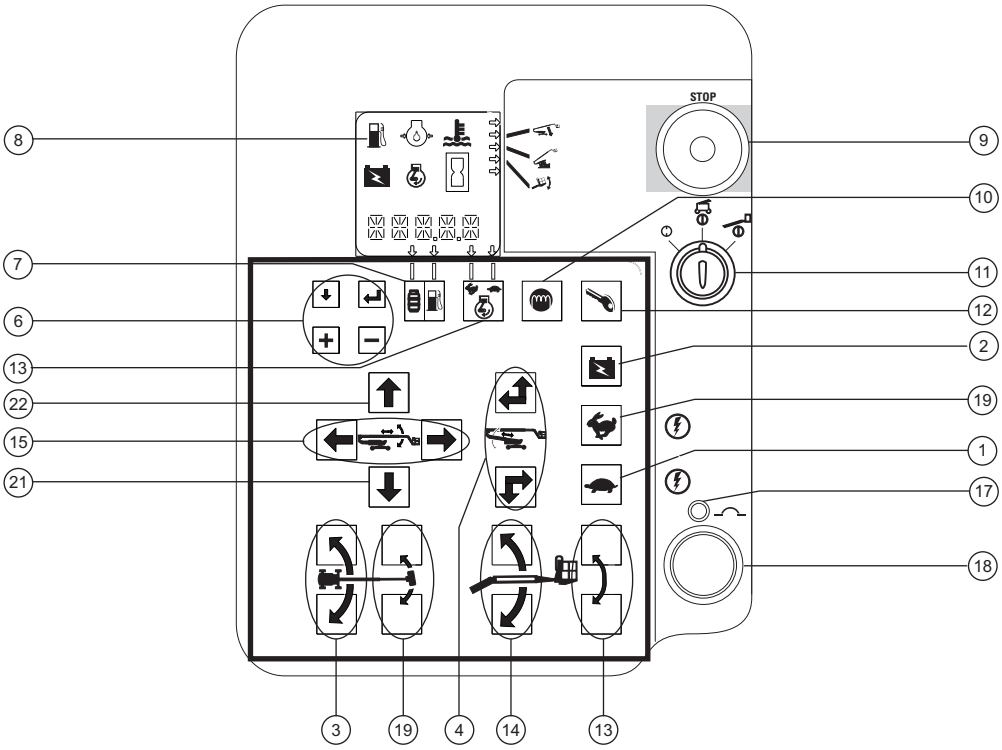


1 円形側のタイヤ（黄色の矢印）
2 四角形側のタイヤ（青色の矢印）
3 補助ブーム
4 地上操作
5 主ブーム
6 作業台操作
7 作業台
8 安全帯固定場所
9 スライド式中間レール
10 マニュアル保管コンテナ
11 ペダルスイッチ

操作

Z-80 の地上操作パネルは、これら 2 種類のスタイルのいずれかになります。このセクションの説明と、「機能テスト」およびの「操作手順」セクションの手順は、特に記載されていない限り両方の操作パネルに適用されます。





操作

地上操作パネル

1 低速機能作動ボタン

低速機能作動スイッチを押して、地上操作パネルの機能を低速で操作できるようにします。

2 非常動力ボタン

主動力（エンジン） が停止した場合、非常動力を使用してください。
非常動力ボタンを押しながら、必要な機能を作動させます。

3 ターンテーブル左/右回転ボタン

ターンテーブル左回転ボタンを押すと、ターンテーブルが左に回転します。ターンテーブル右回転ボタンを押すと、ターンテーブルが右に回転します。

4 補助ブーム上昇/伸長および下降/収縮ボタン

補助ブーム上昇/伸長ボタンを押すと、補助ブームは上昇してから伸長します。補助ブーム下降/収縮ボタンを押すと、補助ブームは収縮してから下降します。

5 主ブーム上昇および下降ボタン

主ブーム上昇ボタンを押すと、主ブームが上昇します。主ブーム下降ボタンを押すと、主ブームが下がります。

6 LCD 画面操作ボタン

7 ガソリン/LPG モデル：燃料選択ボタン

燃料選択ボタンを押して、エンジンの燃料を選択します。LPG タンクの上の矢印が点灯すると、エンジンは LPG で作動します。ガソリンタンクの上の矢印が点灯すると、エンジンはガソリンで作動します。

8 LCD 出力画面



a 燃料低下表示器
b エンジンオイル圧力表示器
c 水温表示器
d 補助動力表示器
e 高エンジン回転数表示器
f 時間計

9 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。機械を操作するには、赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

10 ディーゼルモデル：グロープラグ ボタン

グロープラグ ボタンを 3～5 秒を押し続けます。

11 オフ/地上/作業台選択用キースイッチ

キースイッチをオフの位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置まで回すと、地上操作が作動します。キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。

12 エンジン始動ボタン

エンジン始動ボタンを押すと、エンジンが始動します。

13 エンジン速度選択ボタン

エンジン速度選択ボタンを押して、エンジン速度を選択します。ウサギの上の矢印が点灯すると、エンジンは高速アイドリング状態にあります。カメの上の矢印が点灯すると、エンジンは低速アイドリング状態にあります。

14 作業台レベル上昇/下降ボタン

作業台レベル上昇ボタンを押すと、作業台が上に移動します。作業台レベル下降ボタンを押すと、作業台が下に移動します。

15 ジブブーム上昇/下降ボタン

ジブブーム上昇ボタンを押すと、ジブブームが上昇します。ジブブーム下降ボタンを押すと、ジブブームが下がります。

16 主ブーム伸長/収縮ボタン

主ブーム伸長ボタンを押すと、主ブームが伸長します。主ブーム収縮ボタンを押すと、主ブームが収縮します。

17 システム回路用 20A サーキット ブレーカー

18 アラーム

19 作業台左/右回転ボタン

作業台左回転ボタンを押すと、作業台が左に回転します。作業台右回転ボタンを押すと、作業台が右に回転します。

20 高速機能作動ボタン

高速機能作動スイッチを押して、地上操作パネルの機能を高速で操作可能にします。

21 主ブーム下降ボタン

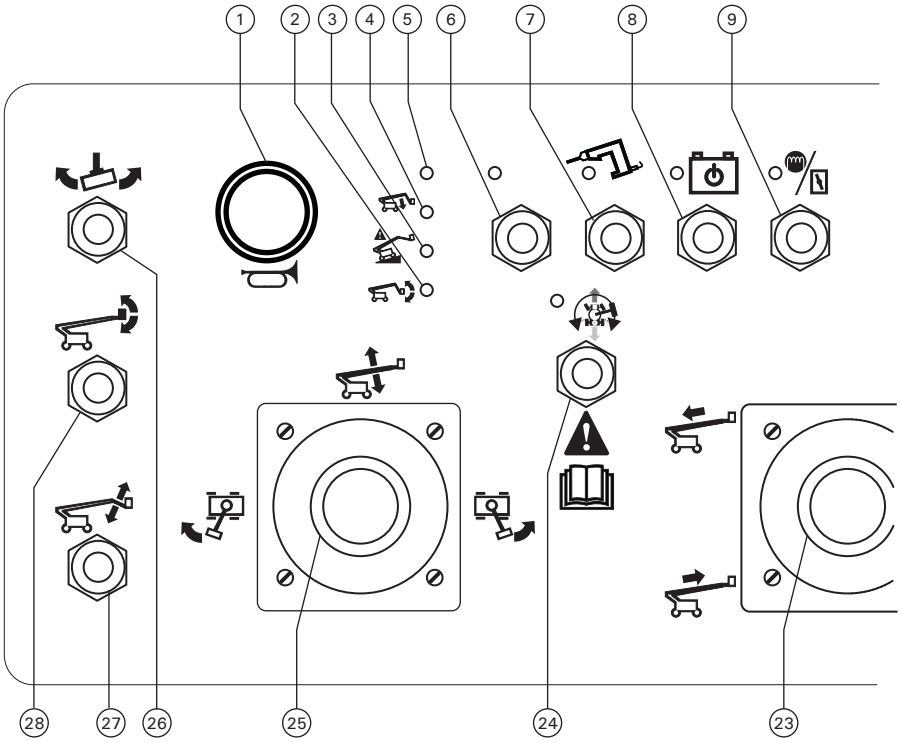
主ブーム下降ボタンを押すと、主ブームが下がります。

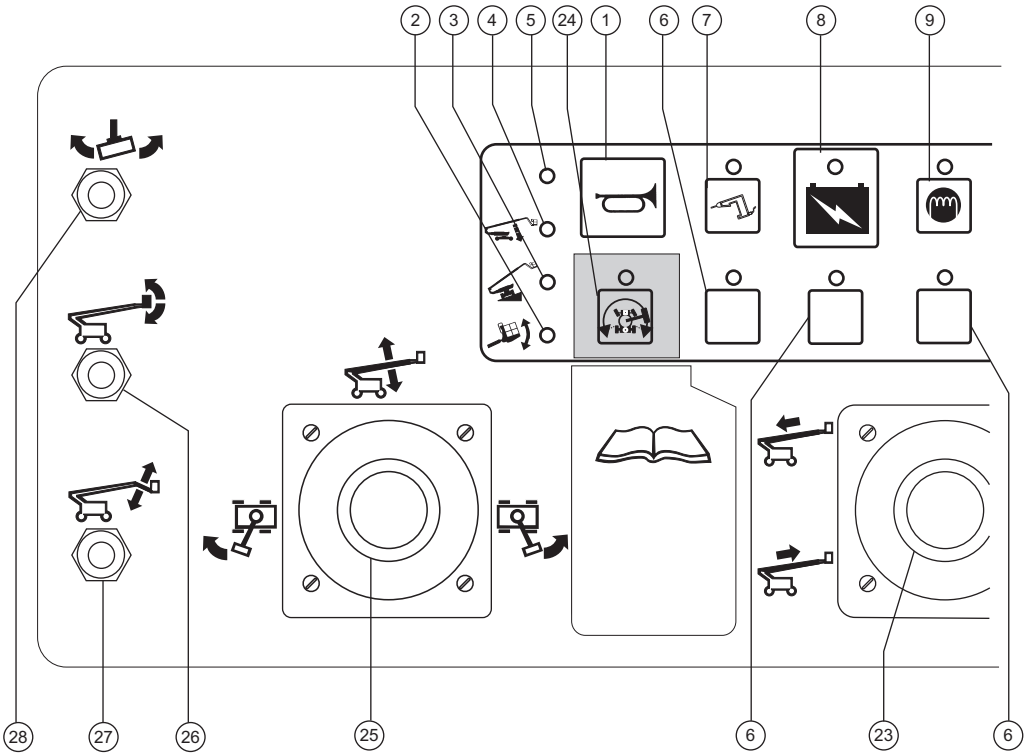
22 主ブーム上昇ボタン

主ブーム上昇ボタンを押すと、主ブームが上昇します。

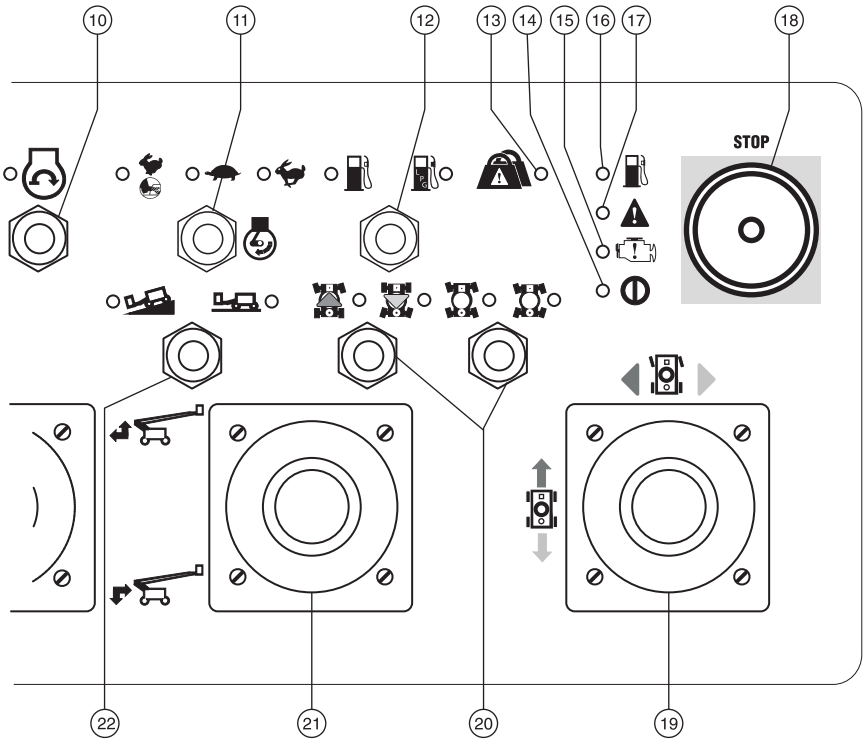
操作

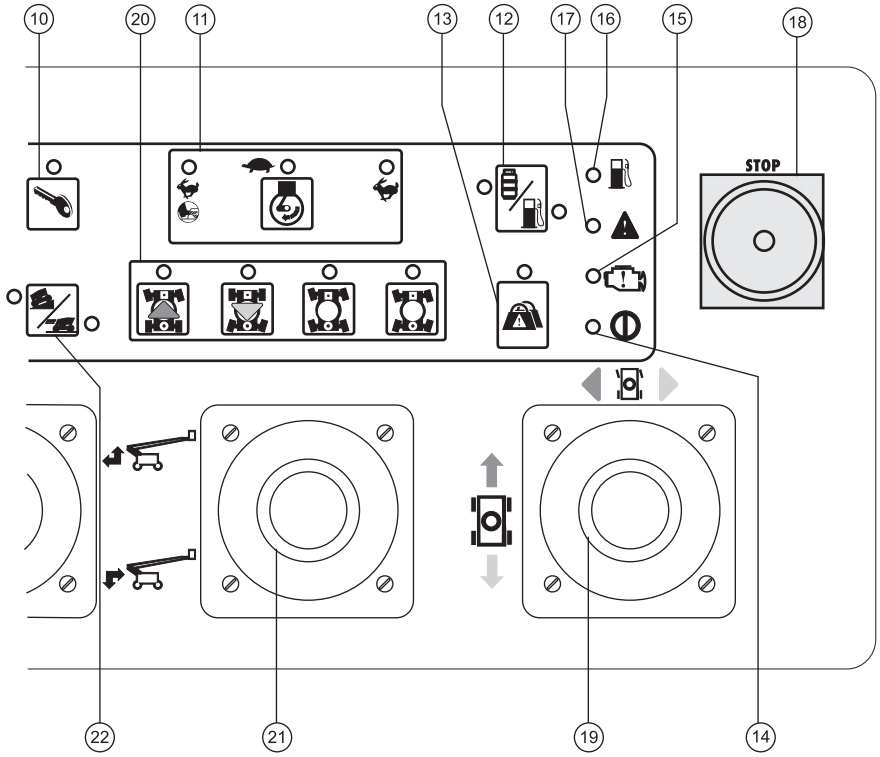
Z-80 の作業台操作パネルは、これら 2 種類のスタイルのいずれかになります。このセクションの説明と、「機能テスト」およびの「操作手順」セクションの手順は、特に記載されていない限り両方の操作パネルに適用されます。





操作


10
11
12
13
14
15
16
17
18
STOP
22
21
20
19


10
20
11
13
12
17
16
15
18
STOP
22
21
19
14

操作

作業台操作パネル

1 ホーンボタン

このボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ボタンを離すと、ホーンが止まります。

2 作業台非水平表示ランプ

作業台を水平にしてランプを消灯させます。このスイッチは、作業台を水平にする方向にのみ動作します。

3 傾斜表示ランプのついている機械

ランプが点灯している場合は、すべての機能が停止しています。「操作手順」のセクションをご覧ください。

4 主ブーム下降表示ランプ

ランプが消灯するまで主ブームを下げます。

5 未使用

6 オプション装備用

7 発電機コントロール、表示ランプ付き（搭載されている場合）

スイッチを移動するかボタンを押すと、発電機がオンになります。スイッチを再び移動するかボタンを離すと、発電機がオフになります。

8 非常/補助動力コントロール、表示ランプ付き

主動力（エンジン）が停止した場合、非常/補助動力を使用してください。

スイッチを移動してそのままの位置にするか、ボタンを押したままにします。希望する機能を作動させます。非常/補助動力が使用されている間、表示ランプが点灯します。

9 ディーゼルモデル：グロープラグコントロール、表示ランプ付き

スイッチを移動するかボタンを押すと、グロープラグが作動します。

ガソリン/LPG モデル：チョークコントロール

チョークを作動させるにはスイッチを移動します。

10 エンジン始動コントロール、表示ランプ付き

スイッチを移動するかボタンを押すと、エンジンが始動します。スイッチが移動するかボタンが押されると、表示ランプが点灯します。

11 エンジン アイドリング コントロール、表示ランプ付き

スイッチを移動するかボタンを押して、エンジン アイドリング設定を選択します。現在のエンジンアイドリング設定の横にある表示ランプが点灯します。

12 燃料選択コントロール、表示ランプ付き

スイッチを移動するかボタンを押して、エンジンの燃料を選択します。現在の燃料選択の横にある表示ランプが点灯します。

13 未使用

14 動力表示ランプ

機械がオンのときにランプが点灯します。

15 エンジン点検表示ランプ

エンジンが故障した場合にランプが点灯します。

16 燃料低下表示ランプ

機械の燃料が低下した場合にランプが点灯します。

17 障害表示ランプ

システムが故障した場合にランプが点灯します。

18 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。機械を操作するには、赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

19 走行およびステアリング機能用ダブル軸比例コントロールハンドルまたは走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカースイッチ。

操作パネルの青色矢印の方向にコントロールハンドルを動かすと、機械が前方に走行します。コントロールハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。コントロール ハンドルを青い三角の方向へ動かすと、機械が左側に曲がります。コントロールハンドルを黄色い三角の方向へ動かすと、機械が右側に曲がります。

または

操作パネルの青色矢印の方向にコントロールハンドルを動かすと、機械が前方に走行します。コントロールハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。ロッカースイッチの左側を押すと、機械が左に曲がります。ロッカースイッチの右側を押すと、機械が右に曲がります。

20 表示ランプ付き操舵モードコントロール

スイッチを移動するかボタンを押して、操舵モードを選択します。

現在の操舵モードの横にある表示ランプが点灯します。

21 補助ブーム上昇/伸長および下降/収縮機能用単軸比例コントロールハンドル

コントロールハンドルを上に動かすと、補助ブームが上昇し伸張します。コントロールハンドルを下に動かすと、補助ブームが収縮し下降します。

22 走行コントロール、表示ランプ付き

スイッチを移動するかボタンを押して、走行設定を選択します。現在の設定の横にある表示ランプが点灯します。

23 主ブーム延長/収縮機能用単軸比例コントロールハンドル

コントロールハンドルを上に動かすと、主ブームが収納されます。コントロールハンドルを下に動かすと、主ブームが伸長されます。

24 走行機能コントロール、表示ランプ付き

表示ランプがオンになると、主ブームが丸印側のホイールを超えて移動し、走行機能がオフになったことを意味します。走行するには、走行機能スイッチを移動するか走行機能ボタンを押し、走行/操舵コントロールハンドルを中央位置からゆっくり動かします。

操作

25 主ブーム上昇/下降と、およびターンテーブル左/右旋回機能用、ダブル軸比例コントロールハンドル

コントロールハンドルを上に動かすと、主ブームが上昇します。コントロールハンドルを下に動かすと、主ブームが下降します。コントロールハンドルを左に動かすと、ターンテーブルが左に回転します。コントロールハンドルを右に動かすと、ターンテーブルが右に回転します。

26 作業台回転スイッチ

作業台回転スイッチを右に動かすと、作業台が右に回転します。作業台回転スイッチを左に動かすと、作業台が左に回転します。

27 作業台レベルスイッチ

スイッチを上げると、作業台のレベルが上がります。スイッチを下げると、作業台のレベルが下がります。

28 ジブブーム上昇/下降スイッチ

ジムブームスイッチを上に動かすと、ジブブームが上がります。ジムブームスイッチを下に動かすと、ジブブームが下がります。

操作前の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可の改造が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていること確認します。

❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。

❑ 作動油の漏れがなく、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

❑ 作動油の漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

❑ エンジン冷却液の漏れがないこと、冷却液が適切な量であることをチェックします。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

❑ バッテリー液の漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、不正に変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックします。

- ❑ 電機部品、配線および電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ 走行とターンテーブルのモーター、および走行ハブ
- ❑ ブームおよびアクスル摩耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ リミットスイッチと警報
- ❑ アラームとビーコン（搭載されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート

機械全体をとおして下記をチェックします：

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみや損傷
- ❑ 過度のさび、腐食または酸化

❑ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。

❑ 点検が終了したら、コンパートメントのすべてのカバーがしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、資格をもつサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意 以下のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。



この手順を行う場合には、エンジンが冷えた状態になっていなければなりません。

エンジンオイル量の点検



エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注意 オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを足してください。

Continental TME27 エンジン オイル粘度	
オイルタイプ	10W-40
Deutz BF4L 2011 エンジン Tier II 準拠 オイル粘度	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温での状況	5W-30
Perkins 804C-33 エンジン オイル粘度	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温での状況	5W-40

メンテナンス

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 エンジンが停止していてブームが格納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は表示計の上から 5 cm 内にしなければいけません。

作動油の仕様

作動油タイプ	Chevron Rykon ｴ Premium MV に相当

バッテリーの点検

エンジンの性能を保ち機械を安全に操作するには、バッテリーが適切な状態であることが重要です。液量が適切でなかったり、ケーブルまたは接続が損傷していると、エンジン部品の故障につながり危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの貴金属をすべて外してください。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意 制御用バッテリーはスターターバッテリーの後ろ側にあります。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリー ケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定バーが適切に配置され固定されていることを確認します。

4 バッテリー通気孔のキャップをとります。

5 バッテリーの酸の量を確認します。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないように注意してください。

6 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

注意 端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

エンジン冷却液の量の点検 -液冷モデル



エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化がある場合には、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果：液の量は、NORMAL（標準）マークを指している必要があります。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。ラジエーター内の液体は非常に熱く、圧力がかっています。液を足すためにキャップをはずす時に液が吹き出すことがあるので注意してください。

タイヤ空気圧の点検



注意 この手順は、オプションのフォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

⚠ 警告 転倒の危険。パンク修理剤を使用してタイヤを一時的に補修しないでください。

機械の安定性を保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限に抑えるためには、すべてのタイヤの空気圧を適切に保持することが大切です。

1 各タイヤを空気圧計でチェックします。必要に応じて空気を入れてください。

高フロテーションタイヤ空気圧	5.5 バール

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンス トレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービス マニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、すべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

1 テストを行う場所として、障害物がなく、しっかりした平らな場所を選びます。

地上操作

2 キー スイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

⊙ 結果：LCD 画面が点灯し、エラーがないことを示すメッセージが表示されます。ビーコンが点滅します（搭載されている場合）。

注記：寒い状況では、LCD 出力画面が温まって表示が現れるまでに時間がかかります。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、機能がなにも作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

機械機能のテスト

7 機能作動/速度選択ボタンを押したままの状態にしないでください。ブームおよび作業台の各機能ボタンが作動するか試します。



⊙ 結果：ブームおよび作業台の機能はなにも作動しません。

8 機能作動/速度選択ボタンを押したままの状態にすると、ブームおよび作業台の各機能のボタンが有効になります。

⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります（搭載している場合）。

補助制御のテスト

9 エンジンを停止します。

10 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

11 同時に非常/補助動力ボタンを押したままにし、各ブーム機能ボタンを押します。

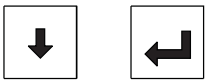


注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブーム機能が作動します。

傾斜センサーのテスト

12 いずれかの LCD 画面ボタンを TURNTABLE LEVEL SENSOR X-DIRECTION（ターンテーブル水平レベルセンサー X 軸方向）と表示されるまで押します。



⊙ 結果：LCD 画面に角度が表示されます。

13 いずれかの LCD 画面ボタンを TURNTABLE LEVEL SENSOR Y-DIRECTION（ターンテーブル水平レベルセンサー Y 軸方向）と表示されるまで押します。

⊙ 結果：LCD 画面に角度が表示されます。

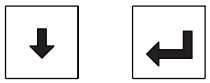
14 いずれかの LCD 画面ボタンを PLATFORM LEVEL SENSOR DEGREES（作業台レベルセンサー角度）と表示されるまで押します。

⊙ 結果：LCD 画面に角度が表示されます。

機能テスト

動作範囲のテスト

15 いずれかの LCD 画面ボタンを PRI BOOM ANGLE（主ブーム角度）と表示されるまで押します。

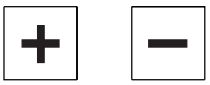


16 主ブームを上げて LCD 画面を確認します。

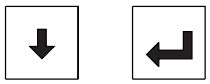
⊙ 結果：主ブームが上昇すると LCD 画面に 35~65 までの主ブーム角度が表示されます。主ブームは、画面の読み値が 65- に達すると停止します。

17 主ブームを下げます。

18 同時に LCD 画面ボタンを押して、ステータスモードを作動させます。



19 いずれかの LCD 画面ボタンを SEC BOOM ANGLE（補助ブーム角度）と表示されるまで押します。



20 補助ブーム上昇/伸長ボタンを押したままにします。

⊙ 結果：補助ブームが上昇し、LCD 画面に以下の数値が表示されます。
=0
>0
>35
=65

補助ブームが上昇し伸長します。補助ブームは、完全に上昇されてから伸長します。

21 補助ブーム下降/収縮ボタンを押したままにします。

⊙ 結果：補助ブームが完全に収縮され、その後下降します。補助ブームは、完全に収縮されるまでは下降しません。

作業台操作

非常停止のテスト

22 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

23 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

24 赤色非常停止ボタンを引いてエンジンを再始動します。

作動油リターンフィルターのテスト

25 高アイドリング（ウサギのマーク）の横にある表示ランプが点灯するまで、エンジンアイドリング速度選択ボタンを押したままにするか、スイッチを移動してそのままにします。



26 作動油フィルター状態を示す表示ランプをチェックします。

⊙ 結果：表示は緑の領域内にあるはずです。

27 ペダルスイッチによる高アイドリング開始（ウサギおよびフットスイッチのシンボル）の横にある表示ランプが点灯するまで、エンジンアイドリング速度選択ボタンを押したままにするか、スイッチを移動してそのままにします。

警報のテスト

28 ホーン ボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

傾斜センサーアラームのテスト

29 エンジンアイドリング選択等、ボタンを押すかスイッチを移動します。

⊙ 結果：作業台操作でアラームが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

30 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

31 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。エンジンは始動しないでください。

32 ペダルスイッチを踏んでエンジンの始動を試みてください。

⊙ 結果：エンジンは始動しません。

33 ペダルスイッチを踏まずにエンジンを再始動します。

34 ペダルスイッチを踏まずに各機械機能をテストします。

⊙ 結果：機械機能はなにも作動しません。

機械機能のテスト

35 ペダルスイッチを踏みます。

36 各機械機能コントロールハンドル、トグルスイッチまたはボタンを作動します。

⊙ 結果：すべての機能がフルサイクル作動します。

ステアリングのテスト（4 輪ステアリングモデル）

37 四角形印側（青色の矢印）操舵を選択します。四角形印側（青色矢印）の操舵ボタンを押すか操舵モードスイッチを移動します。



38 ペダルスイッチを踏みます。

39 走行/ステアリングコントロールハンドルを、コントロールパネルの青色の三角形で示された方向にゆっくりと動かすか、ロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果：四角形側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。

40 丸印側タイヤ（黄色の矢印）操舵を選択します。丸印側（黄色矢印）の操舵ボタンを押すか操舵モードスイッチを移動します。



41 ペダルスイッチを踏みます。

42 走行/ステアリングコントロールハンドルを、コントロールパネルの黄色の三角形で示された方向にゆっくりと動かすか、ロッカースイッチを黄色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果：丸印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。

43 クラブ操舵を選択します。クラブ操舵ボタンを押すか操舵モードスイッチを移動します。



44 ペダルスイッチを踏みます。

45 走行/ステアリングコントロールハンドルをコントロールパネルの青色の三角形で示された方向にゆっくりと動かすか、ロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果：すべてのホイールが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

機能テスト

46 座標操舵を選択します。 座標操舵ボタンを押すか操舵モードスイッチを移動します。



47 ペダルスイッチを踏みます。

48 走行/ステアリングコントロールハンドルを、コントロールパネルの青色の三角形で示された方向にゆっくりと動かすか、ロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果：四角形側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。丸印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。

ステアリングのテスト（2 輪ステアリングモデル）

49 ペダルスイッチを踏みます。

50 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネル上の青い三角が示す方向に押します。あるいは、走行/ステアリング コントロールハンドルを、青い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果：ステアリングタイヤが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

51 ロッカースイッチを操作パネルの黄色い三角が示す方向に押します。あるいは、走行/ステアリング ハンドルを、黄色い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果：ステアリングタイヤが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

52 ペダルスイッチを踏みます。

53 走行/ステアリングコントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、急停止します。

54 走行/ステアリングコントロールハンドルを操作パネルの黄色の矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

振動軸のテスト
（振動軸を搭載するモデル）

55 作業台操作でエンジンを始動します。

56 右側の四角形印タイヤを 15 cm くらいのブロックまたは歩道の縁に乗り上げます。

⊙ 結果：他の 3 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

57 左側の四角形印タイヤを 15 cm くらいのブロックまたは歩道の縁に乗り上げます。

⊙ 結果：他の 3 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

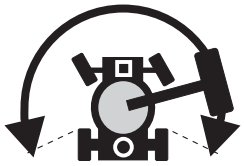
58 両方の四角倦印タイヤを15 cm くらいのブロックまたは歩道の縁に乗り上げます。

⊙ 結果：丸印側のタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

走行機能システムのテスト

59 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

60 主ブームが丸印側のタイヤのひとつを超えるまで、ターンテーブルを旋回させます。



⊙ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯します。

61 走行/ステアリングコントロールハンドルを中心の位置から動かします。

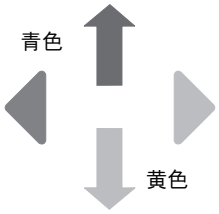
⊙ 結果：走行機能は作動しません。

62 走行機能ボタンを押すか走行スイッチを移動して、走行/操舵コントロールハンドルを中央位置からゆっくり動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムを使用の際、走行とステアリングのコントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。



走行機能を作動させてから 2 秒以内に走行/操舵コントロールハンドルを動かさなかった場合には、走行機能は動作しません。

走行制限速度のテスト

63 ペダルスイッチを踏みます。

64 主ブームを水平から 10° まで上げます。

65 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：主ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

注記：フォームタイヤを装備しているモデルでは、40 秒間で 12 m 走行します。ハイフローテーションタイヤを装備しているモデルでは、62 秒間で 12 m 走行します。

66 主ブームを収納位置まで下ろします。

67 主ブームを 1.2 m 伸長してください。

68 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：主ブームを伸長した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

注記：機械は 40 秒間に 12 m 走行します。

機能テスト

69 主ブームを収納位置まで収縮します。

70 補助ブームを水平から 10° まで上げます。

71 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

注記：フォームタイヤを装備しているモデルでは、40 秒間で 12 m 走行します。ハイフローテーションタイヤを装備しているモデルでは、62 秒間で 12 m 走行します。

72 補助ブームを収納位置まで下ろします。

主ブームまたは補助ブームを上昇した状態、あるいは主ブームを伸長した状態で走行速度が 30 cm/秒を超えた場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

非常/補助コントロールのテスト

73 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、エンジンが停止します。

74 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

75 ペダルスイッチを踏みます。

76 非常操作を作動します。スイッチを移動してそのままの位置にするか、ボタンを押したままにします。各機能コントロールハンドル、スイッチ、またはボタンを作動させます。

注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブームおよびステアリング機能が作動します。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険をさけてください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜面
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人の存在
- その他、起こる可能性のある危険な状態

操作手順



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの任務です。

人を工具や機材とともに高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け、認定された担当者のみ機械を操作することが許可されています。2 人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順にすべて従わなければなりません。すなわちオペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

エンジンの始動

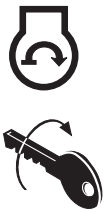
1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

ガソリン/LPG モデル

3 燃料を選択します。ボタンを押すかスイッチを移動します。

4 エンジンを始動させます。ボタンを押すかスイッチを移動します。 エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって始動ボタンが 3 秒間始動できなくなります。



ディーゼルモデル

3 グロープラグを作動させます。ボタンを押すかスイッチを移動します。

4 エンジンを始動させます。ボタンを押すかスイッチを移動します。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって始動ボタンが 3 秒間始動できなくなります。

すべてのモデル

15 秒間のクランクを回転してもエンジンが始動しない場合、故障の原因を判別し、修理してください。もう一度始動を試みる前に、60 秒間待ってください。

-6℃ 以下の寒い状況では、油圧システム損傷を避けるために操作前に 5 分間エンジンを温めます。

-18℃ 以下の極寒の状況では、オプションの低温スタートキットを機械に搭載する必要があります。気温が -18℃ 以下のときにエンジンを始動する場合、ブースターバッテリーが必要な場合があります。

ガソリン/LPGモデル：-6℃ 以下の低温の状況では、機械をまずガソリンで始動し、2 分間暖めてから、LPG に切り替える必要があります。エンジンが温まると、LPG で始動することができます。

非常停止

地上もしくは作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能とエンジンを停止してください。

赤色非常停止ボタンが停止位置まで押されている状態で作動している機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは動作に影響しなくなります。

補助制御

主動力源(エンジン)が停止した場合、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 作業台から非常/補助コントロールを操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。

4 非常/補助コントロールを作動させます。スイッチを移動してそのままの位置にするか、ボタンを押したままにします。 各機能コントロールハンドル、スイッチ、またはボタンを作動させます。



補助動力走行オプションを搭載した機械:走行機能が作動します。

操作手順

地上からの操作

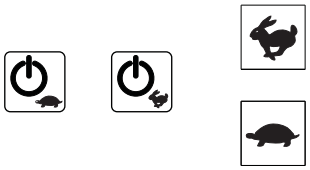
1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LPGモデル：燃料選択ボタンを押して燃料を選択します。

4 エンジンを始動します。

作業台を位置につける



1 機能作動/速度選択ボタンを押したままにします。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能ボタンを押します。

走行とステアリングの機能は地上操作から操作できません。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料を選択します。ボタンを押すかスイッチを移動します。

4 エンジンを始動します。エンジンを始動する時は、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かすか、適切なボタンを押します。

ステアリング

1 ペダルスイッチを踏みます。

4 輪ステアリングモデル:

2 操舵モードを選択します。ボタンを押すかスイッチを移動します。 現在の操舵モードの横にある表示ランプが点灯します。



すべてのモデル:

3 走行/ステアリング コントロールハンドルを青または黄色の三角が示す方向にゆっくり動かします。 あるいは、走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを押します。



作業台操作と走行シャーシの色分けされた方向矢印を見ながら、タイヤの向く方向を確認してください。

走行



1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げる走行/ステアリングコントロールハンドルを青色または黄色の矢印の方向へゆっくりと動かします。

速度を下げる：走行/ステアリングコントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止する：走行/ステアリングコントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色分けされた方向矢印を見ながら、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、カウンターウェイトが上り側
(登坂能力):
2WD: 30% (17°)
4WD: 45% (24°)



最大定格勾配、カウンターウェイトが下り側:
2WD: 15% (9°)
4WD: 35% (19°)



最大定格横勾配:
25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。登坂能力という用語は、カウンターウェイトが傾斜の上り側にある場合にのみ適用されます。

ブームが水平位置より下にあり、丸印側 (黄色の矢印) のホイールの間にあることを確認します。

傾斜シンボルの横にあるランプが点灯するまで、走行速度選択ボタンを押します。

傾斜勾配の確認

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なもの：

水準器

最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片

巻尺

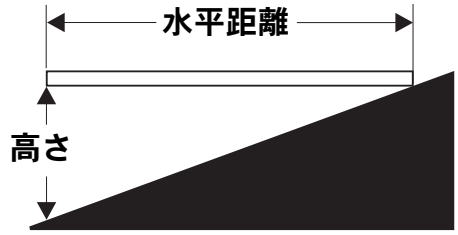
傾斜面の上に木片を置きます。

傾斜の下側の端で、木片の端に合わせてその上にレベル (水準器) を置いた後、木片が水平になるまで木片を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離 (高さ) を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例：



木片 = 3.6 m

水平距離 = 3.6 m

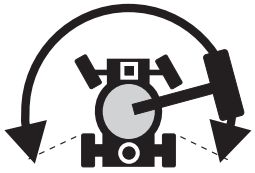
高さ = 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、ウィンチを使用するか、もしくは機械を輸送する必要があります。「輸送およびリフトの手順」のセクションを参照してください。

操作手順

走行機能



表示ランプがオンになると、ブームが丸印側のホイールを超えて移動し、走行機能がオフになったことを示します。

走行するには、走行機能ボタンを押すか走行機能スイッチを移動し、走行/操舵コントロールハンドルを中央位置からゆっくり動かします。

走行機能を作動させてから 2 秒以内に走行/操舵コントロールハンドルを動かさなかった場合には、走行機能は動作しません。 解除して走行機能を再度作動させてください

走行コントロールハンドルおよびステアリングコントロールハンドルの方向とは反対の方向に機械が動くことがあります。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印見ながら、機械の進む方向を確認してください。

発電機 (搭載している場合)

発電機を作動させるには、発電機ボタンを押します。表示ランプが点灯して、エンジンが動き続けます。

電動工具のプラグを作業台用 GFCI コンセントに差し込みます。

発電機をオフにするには、発電機ボタンを押します。リフト表示ランプが消灯します。

エンジンアイドリングセレクト (rpm)

エンジンアイドリング (rpm) を選択してください。ボタンを押すかスイッ。



- ウサギとペダルスイッチのシンボル：ペダルスイッチにより高アイドリングを作動
- カメシンボル：低アイドリング
- ウサギシンボル：高アイドリング

エンジンランプのチェック



ランプが点灯し、エンジンが止まった場合：故障の張り紙を付けて作業を中止してください。

ランプが点灯して、エンジンがまだ作動している場合：24 時間以内にサービス担当者に連絡してください。

動作範囲超過ランプ

動作範囲超過ランプは、機能の動作が停止されたため、オペレータによる処置が必要であることを示します。



主ブーム下降表示ランプが点滅:表示ランプが消灯するまで主ブームを下げます。



非水平インジケーターランプが点滅：このランプが点滅している間、傾斜アラームが鳴ります。機械をしっかりした平らな地面に移動してください。



作業台非水平インジケーターランプが点滅：このランプが点滅している間、傾斜アラームが鳴ります。作業台水平トグルスイッチは、作業台を水平にする方向にのみ動作します。ランプが消えるまで作業台を水平にしてください。

作業台過負荷表示ランプ (搭載されている場合)



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点灯します。すべての機能が作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。

エンジンの停止

赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にします。

落下防止

この機械の操作時は、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

すべてのPFPE は、適用される法規に準拠したものでなければならず、取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

使用後の注意

1 しっかりした平らな地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが丸印側のタイヤの間にくるようにターンテーブルを旋回させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。

5 輪止めをかまします。

ステッカー

喚起語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの喚起語やシンボルを確認します。すべてのステッカーが読める状態で所定の位置に貼られていることを確認します。

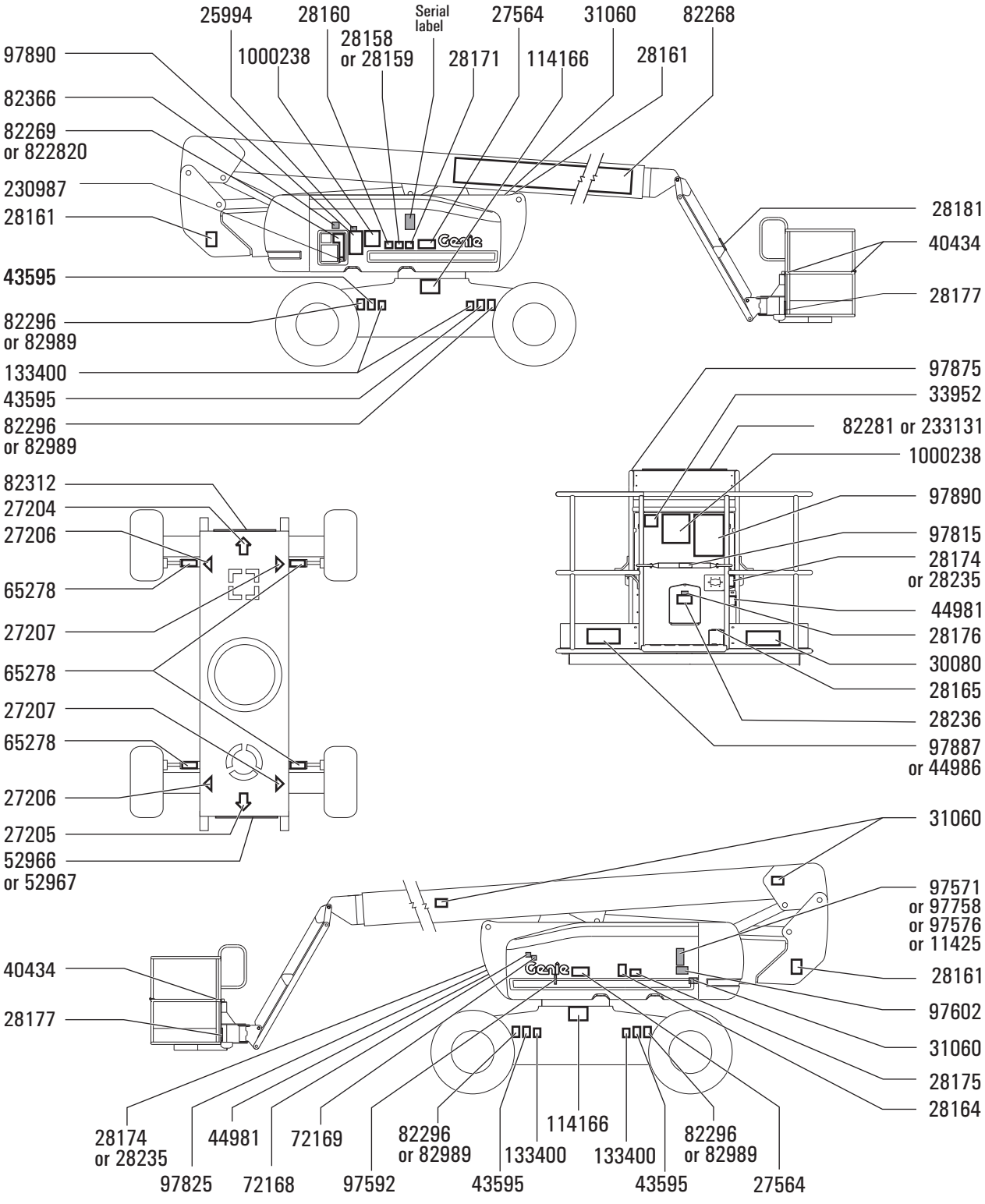
Part No.	Description	Quantity
25994	Caution - Component Damage Hazard	1
27204	Arrow - Blue	1
27205	Arrow - Yellow	1
27206	Triangle - Blue	2
27207	Triangle - Yellow	2
27564	Danger - Electrocution Hazard	2
28158	Label - Unleaded	1
28159	Label - Diesel	1
28160	Label - LPG (option)	1
28161	Warning - Crushing Hazard	3
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28165	Notice - Foot switch	1
28171	Label - No Smoking	1
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28177	Warning - Collision Hazard	2
28181	Warning - No Step or Ride	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
30080	Notice - Max. Capacity, 500 lbs / 227 kg	1
31060	Danger - Tip-over Hazard	4
33952	Danger - Tip-over Hazard	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	3
43595	Danger - Tip-over Hazard, Foam FilledTires	4
44986	Notice - Max. Manual Force, 90 lbs / 400 N, CE and Australia	1
44981	Label - Air Line to Platform (option)	2
52966	Cosmetic - 4 x 2	1
52967	Cosmetic - 4 x 4	1

Part No.	Description	Quantity
65278	Caution - No Step	4
72168	Notice - Starter Battery	1
72169	Notice - Controls Battery	1
82268	Cosmetic - Genie Z-80/60	1
82269	Ground Control Panel	1
82281	Platform Control Panel	1
82296	Danger/Notice - Tire Specifications, Foam Filled	4
82312	Cosmetic - Z-80	1
82366	Label - Chevron Rykon	1
82989	Danger/Notice - Tire Specifications, High Flotation	4
97571	Notice - Ford Engine Specs	1
97576	Notice - Deutz Engine Specs	1
97592	Label - Fuse and Relay Panel Layout	1
97602	Warning - Explosion Hazard	1
97758	Notice - Perkins Engine Specs	1
97815	Label - Lower Mid-rail	1
97875	Label - Weld Line to Platform (option)	2
97887	Notice - Max Side Force, 150 lbs / 667 N, ANSI and CSA	1
97890	Danger - General Safety	2
114166	Label - Transport diagram	2
114245	Notice - Continental Engine Specs	1
133400	Label - Wheel Load	4
230987	Ground Control Panel Key Switch	1
233131	Platform Control Panel	1
822820	Ground Control Panel	1
1000238	Notice - Operating Instructions	2



影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。

ステッカー


25994
28160
Serial label
27564
31060
82268
97890
1000238
28158 or 28159
28171
114166
28161
82366
82269 or 822820
230987
28161
28181
40434
43595
28177
82296 or 82989
133400
43595
82296 or 82989
97875
33952
82281 or 233131
1000238
82312
27204
27206
97890
97815
65278
28174 or 28235
27207
44981
65278
28176
30080
27207
28165
65278
28236
97887 or 44986
27206
27205
52966 or 52967
31060
97571 or 97758 or 97576 or 11425
40434
28161
28177
97602
31060
28175
28164
28174 or 28235
44981
72169
82296 or 82989
114166
133400
133400
82296 or 82989
97825
72168
97592
43595
43595
27564

ステッカー

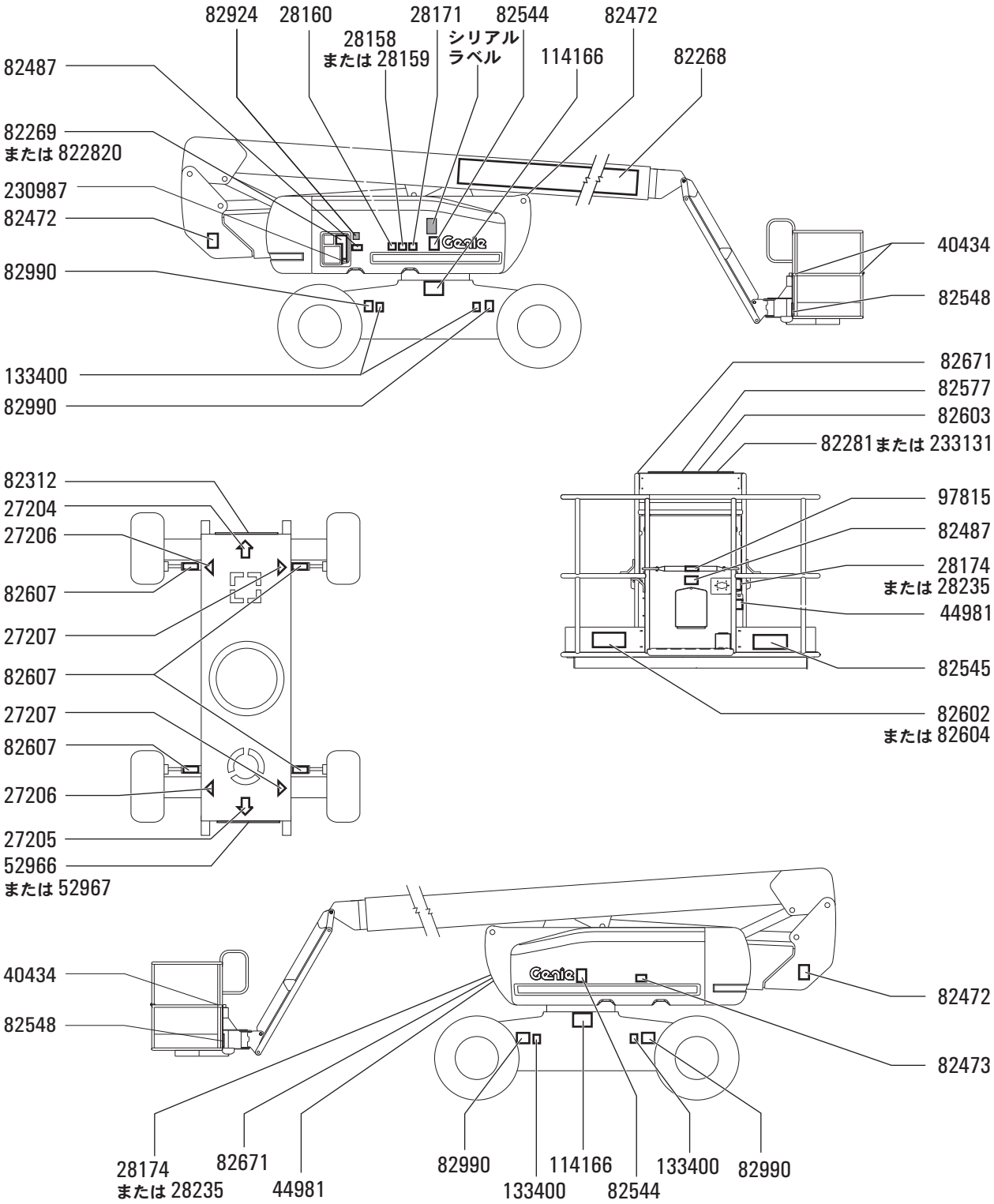
シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。すべてのステッカーが読める状態で所定の位置に貼られていることを確認します。

品番	名称	数量
27204	矢印 - 青	1
27205	矢印 - 黄	1
27206	三角 - 青	2
27207	三角 - 黄	2
28158	ラベル - 無鉛	1
28159	ラベル - ディーゼル	1
28160	ラベル - 発電機（オプション）	1
28171	ラベル - 禁煙	1
28174	ラベル - 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、115V	2
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	3
44981	ラベル - 作業台への空気管（オプション）	2
52966	外装 - 4 x 2	1
52967	外装 - 4 x 4	1
82268	外装 - Genie Z-80/60	1
82269	地上操作パネル	1
82281	作業台操作パネル	1
82312	外装 - Z-80	1
82472	警告 - 手のケガの危険	3
82473	要注意 - コンパートメントへのアクセス	1
82487	ラベル - マニュアルを読む	2
82544	危険 - 感電の危険	2

品番	名称	数量
82545	注意 - 最大積載量、227 kg	1
82548	警告 - 作業台回転	2
82577	ラベル - 作業台過負荷パッチ	1
82602	危険 - 最大側方圧力、667 N、ANSI	1
82603	ラベル - 走行機能パッチ	1
82604	危険 - 最大側方圧力、400 N	1
82607	要注意 - 踏まない	4
82671	ラベル - 作業台への溶接ライン（オプション）	2
82924	要注意 - 部品損傷の危険	1
82990	ラベル - タイヤ空気圧、ハイフロテーション	4
97815	ラベル - 中間レール	1
114166	ラベル - 輸送図	2
133400	ラベル - 輪荷重	4
230987	地上操作パネルキースイッチ	1
233131	作業台操作パネル	1
822820	地上操作パネル	1

ステッカー


82924
28160
28158
または 28159
28171
シリアル
ラベル
82544
82472
114166
82268
82487
82269
または 822820
230987
82472
82990
133400
82990
40434
82548
82671
82577
82603
82281 または 233131
97815
82487
28174
または 28235
44981
82545
82602
または 82604
82312
27204
27206
82607
27207
82607
27207
82607
27206
27205
52966
または 52967
40434
82548
82472
82473
28174
または 28235
82671
44981
82990
133400
114166
82544
133400
82990

輸送およびリフトの手順

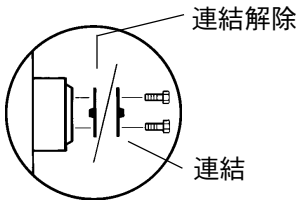
必ず従うこと：

- ☑ Genie Industries は、推奨事項としてこの固定に関する情報を紹介しています。米国運輸省の規定、その他の地域の規定および自社の方針に従って機械を正しく固定し、適切なトレーラーを選んでください。使用者がすべての責任が負うことになります。
- ☑ Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトの準備、積載、固定の専門知識を持つ国際輸送のために認定された運送会社に依頼してください。
- ☑ 資格をもつ高所リフト作業員のみがトラックからの機械の積み下ろしをするようにします。
- ☑ 輸送車両は平らな地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せる際は、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアル プレートをご覧ください。シリアルプレートの場所については、ステッカーのセクションを参照してください。
- ☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作を始める前にターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。
- ☑ 機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。
- ☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には指示どおりにウィンチを使用する必要があります。定格勾配については、仕様のセクションを参照してください。

ウィンチ用のフリーホイールの設定

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2WDモデル：走行ハブ取外しキャップを裏返して、非ステアリングタイヤのブレーキを解除します。



4WDモデル：4 輪すべての走行ハブ取外しキャップを反転させて、ホイールブレーキを解除します。

シャーシの荷締め個所にウィンチ ラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

再びブレーキをかけるには逆の手順で行ってください。

注記：ポンプフリーのホイール弁は常に閉じた状態にしておいてください。

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送する時は、必ずターンテーブル旋回ロックを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

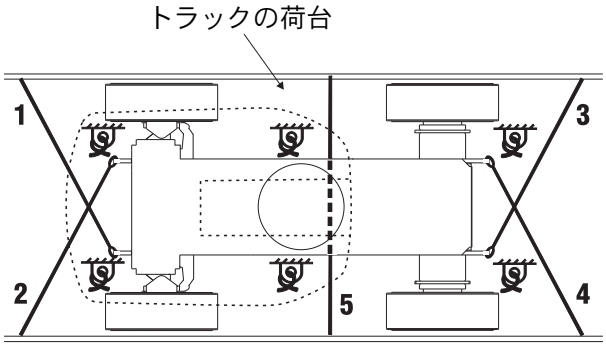
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

シャーシの固定

積載荷重量に十分耐えうるチェーンを使用してください。

最低 5 組のチェーンを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、リギングを調節してください。

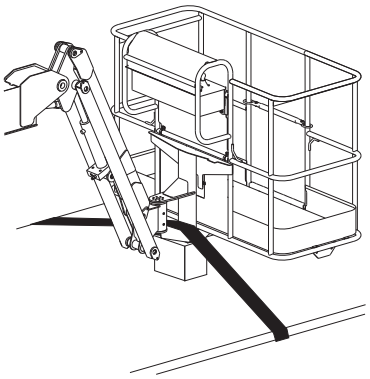


作業台の固定

ジブと作業台が収納された状態であることを確認してください。

作業台回転の下に木製のブロックを置きます。ブロックが作業台シリンダーに接触しないようにします。

低い作業台サポートにナイロンのストラップを通して、作業台を固定します。ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

- ☑ 認定されているリガーを使用して、リギングおよびリフトを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアル プレートをご覧ください。

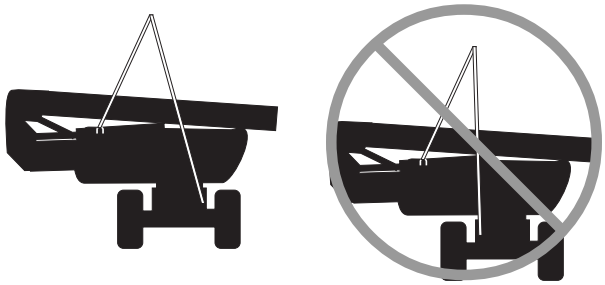
リフトの手順

主ブームと補助ブームを両方とも完全に下げて収縮します。機械に緩んでいる個所がないことを確認してください。

ターンテーブルを 90 度回転させます。

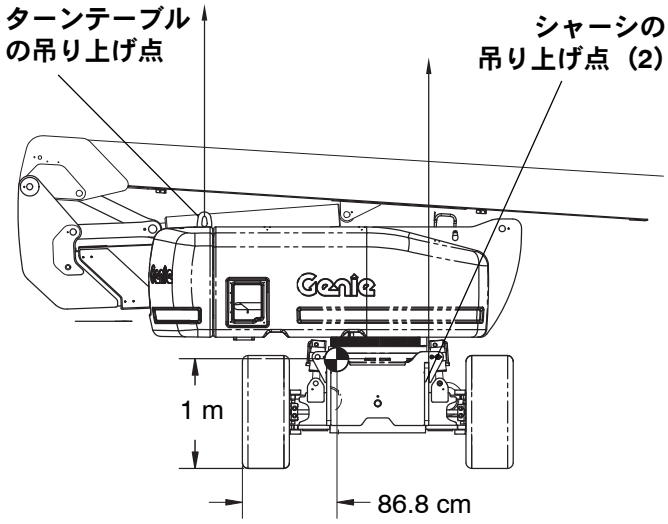
このページの図に記載された測定値を参考にして、機械の重心を確認してください。

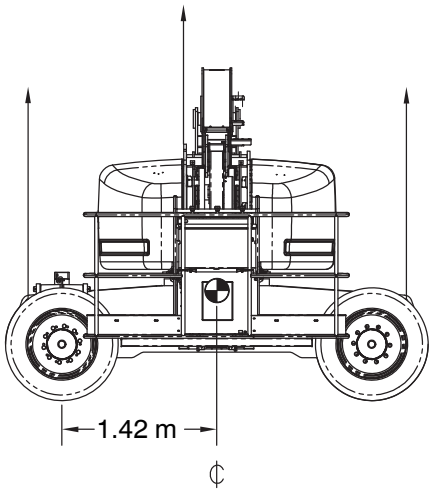
機械の指定の吊り上げ点にのみリギングを取り付けます。



ターンテーブルの吊り上げ点から最も遠いシャーシの吊り上げ点 2 カ所にリギングを取り付けます。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、リギングを調節してください。





仕様

Z-80/60	
高さ、操作時最高	26.2 m
高さ、作業台最高	24.4 m
高さ、収納時最高	3 m
水平リーチ、最大	18.3 m
幅	2.5 m
奥行き、作業台収納時	11.3 m
奥行き、輸送時の収納状態	9.1 m
最大積載荷重	227 kg
最大風速	秒速 12.5 m
ホイールベース	2.7 m
最低地上高	30 cm
旋回半径、外径 2 輪ステアリング 4 輪ステアリング	 7.5 m 4.6 m
旋回半径、内径 2 輪ステアリング 4 輪ステアリング	 4.4 m 2.1 m
ターンテーブル回転角度（度）	360° 連続
ターンテーブル後端旋回半径、補助ブームを下げた状態	2.24 m
ターンテーブル後端旋回半径、補助ブームを上げた状態	1.17 m
制御	12V DC 比例
作業台寸法、6フィート（長さ×幅）	1.8 m x 76 cm
作業台寸法、8 フィート（長さ×幅）	2.4 m x 91 cm
作業台水準化	自動水平維持
作業台回転角度	160°
作業台 AC コンセント	標準

油圧、最大	220 バール
システム電圧	12V
タイヤ サイズ	18-625、16 ply FF
タイヤサイズ - ハイフローテーションタイヤ	445D50/710 18PR
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量（A特性騒音レベル）	113 dB
重量 （機械の重量は、オプション構成により異なります。）	シリアルラベルを参照
燃料タンク容量	132 リットル
走行速度（フォームタイヤ）	
収納時	4.8 km/h 12.2 m/9.1 s
上昇または伸長時	1.1 km/h 12.2 m/40 s
走行速度（ハイフローテーションタイヤ）	
収納時	3.2 km/h 12.2 m/9.1 s
上昇または伸長時	0.64 km/h 12.2 m/62 s
最大定格勾配、収納状態、2WD	
カウンターウェイトが傾斜の上り側	30%（17°）
カウンターウェイトが傾斜の下り側	15%（9°）
横勾配	25%（14°）
最大定格勾配、収納状態、4WD	
カウンターウェイトが傾斜の上り側	45%（24°）
カウンターウェイトが傾斜の下り側	35%（19°）
横勾配	25%（14°）
注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。	

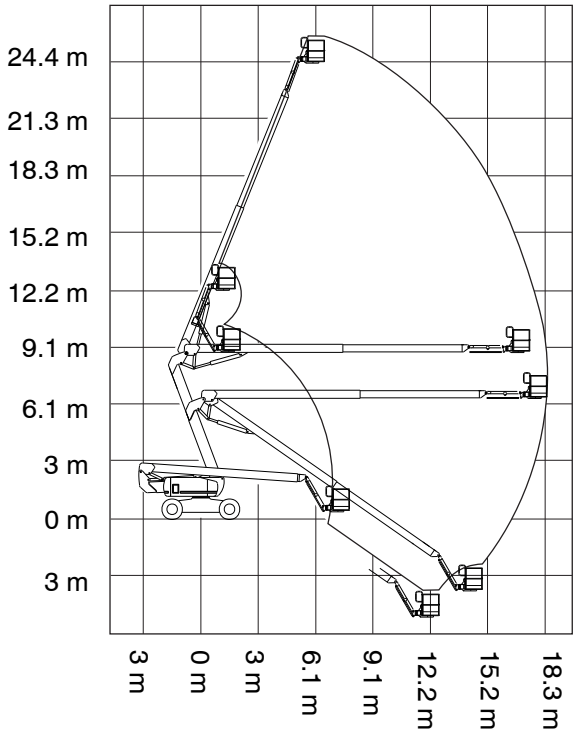
Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

床荷重表	
輪荷重、最大	10,206 kg
タイヤ接地圧	9.1 kg/cm^2 896 kPa
車体使用面積当りの圧力	1841 kg/m^2 18.05 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Z-80/60 動作範囲



Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様は予告なく変更することがあります。

代理店：

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー ダイアル 米国およびカナダ 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 183 581 102
Fax +31 183 581 556

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 575100
Fax +46 31 579020

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241